

安全・安心を
お届け

産直便

農



PROFILE

かなもり かつとし
金森 勝利 さん

KANAMORI KATSUTOSHI

79歳

愛西市西川端町

いつまでも野菜作りを楽しみたい

愛西市の金森さんは出荷を始めて今年で20年目を迎えます。朝5時に起床し、圃場を回った後は誰よりも早く愛菜耕房を訪れて出荷の前に産直の仲間たちと一緒に体操をするのが日課です。

金森さんが野菜作りで心掛けているのが多品種の生産です。先輩生産者から教わったり産直部会の講習会へ参加する中で栽培技術を身に付け、毎年50品目の作物を出荷しています。最近ではJAが取り組む「付加価値商品づくりに向けた栽培研修会」にも参加し、新しい知識や技術についても積極的に取り入れています。さらに消費者ニーズに合わせた出荷を行うため、毎日の売上記録を精査して栽培品目を見直したり、近隣店舗での市場調査も行っています。

精力的に活動を続けている金森さんですが、今年80歳の節目を迎え野菜作りについての考え方に変化があったと話します。露地栽培では病害虫や鳥、風、温度など自然環境の影響が大きく、柔軟な対応が必要になりますが、年齢を重ね体力の面で課題を感じるようになりました。「これからは『野菜作りを楽しむこと』を意識して、自分の体と相談しながら、育てる作物一つ一つに愛情を注いでいきたいです」と金森さんは話します。最近では収穫時期の短縮を目的に専門の農家が育てたセル苗を購入したり、収量の多い品種を取り入れることで作業の効率化に取り組んでいます。

「作った野菜を食べていただけるのが一番のはげみになります。明日も仲間たちと一緒に新鮮な野菜を届けることができるよう頑張っていきたいと思います」とメッセージをいただきました。